

「コロナの時代をどう生きるか」～心の健康のためにできること～ 講師 桑山紀彦氏

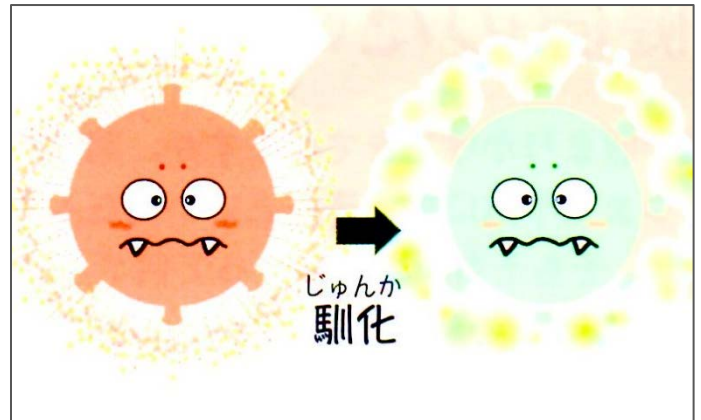
2020年10月18日(日) 10:00～11:30 岩手教育会館 カンファレンスルーム

新型コロナウイルス感染症は世界中に蔓延し、多くの活動やイベントが中止・延期になる中、オンライン講座を開催。精神科医、心療内科医、医学博士であり「地球のステージ」コンサートでは岩手に数回およびしている桑山紀彦氏のお話を30名が受講。

検温、マスク、消毒をして開催。石橋百合子専務理事の開会あいさつの後、60分間講座、換気をはさんで質疑応答の時間も設けました。



石橋専務理事 あいさつ



「コロナウイルス」を「新コロくん」とイラスト化して説明

ウイルスは目に見えず、治療法も確立していないことから、不安や恐怖を引き起こす。その不安や恐怖が他者への攻撃や差別につながる事を「社会感染」という。コロナとの戦いは自分との戦いでもある。通常ウイルスは人の体に適応して症状が穏やかになる。これを「馴化」という。ウイルスを無くすのではなく、共存することができるのではないかなど、「コロナと共に生きていく時代」をどう乗り切っていくかを考える講座でした。

桑山先生のお話を子ども用にまとめたDVDも作製されているそうです。岩手県ユニセフ協会にお問い合わせ下さい。

～参加者の感想より～

- * ウイルスは怖いものではあるけれど、ねじ伏せるものではなく共存するものだとわかりました。(40代男性)
- * あまりの都市化などでストレスが多い社会。人間が暮らすには不自然な社会がウイルスに弱いのだと思います。社会的感染で分断や攻撃…知恵があるはずの人間が一番愚かなんだと感じました。(50代女性)
- * 社会的感染の恐ろしさを再認識。私自身他人に「ホラ見たことか」と思わないようにしたい。(60代男性)
- * 自分は高齢者で、感染は恐怖でしかなかった。お話を伺い「馴化」という言葉を知り、共存していくことが大事ということがわかり少し安心しました。(70代女性)



* 会場では、ボランティアスタッフの手作り品なども並び、募金は13,780円。

